

所 属	健康福祉部 医療整備課		
担当(係)名	医師確保担当	内線	2537

医師確保の推進

<地域医療再生臨時特例基金事業>

1 事業費	【財源内訳】	【主な用途】
277,025	国庫 18,750	負担金、補助及び交付金 60,590
(前年度 232,430)	一般財源 258,275	貸付金 216,435

2 背景・現状

医師の地域偏在や、特定の診療科の偏在、病院勤務医の不足などが全国的に問題となっており、本県でも同様の状況にある。

このため、平成20年度から実施された岐阜大学医学部の定員増と地域枠の設定に併せて、県内医療機関での従事医師の増加を図るために、大学医学部卒業後、一定期間を県内医療機関に勤務することを条件とした医学生修学資金制度を創設した。

3 事業目的

県内で勤務する医師の確保のため、引き続き地域枠の設定、医学生修学資金制度を継続するとともに、こうして得られた貴重な人材を岐阜県全体の財産として育成し、医師の県内定着と地域医療の確保につなげるコンソーシアムの運営等を支援する。

4 事業概要

(1) 岐阜県医学生修学資金 (216,435千円)

岐阜県の地域医療に貢献する意思のある医学生を対象に修学資金を貸与

※ 臨床研修修了後、知事の指定する医療機関で一定期間業務に従事した場合、返還を免除します。

(2) 岐阜県医師育成・確保コンソーシアム (60,590千円)

医師育成・確保コンソーシアムの運営を支援するとともに、コンソーシアムが、医師会や協力医療機関との連携のもとに実施する、主に次の事業に対し補助を行う。

- ・初期臨床研修医の教育研修に関する事業
- ・後期研修医等のキャリアアップに関する事業
- ・コンソーシアム構成病院からの指導医等の派遣事業

(款) 4 衛生費	(項) 1 医務費	(目) (2) 医務費
(明細書事業名) ○医療監視等指導費		
岐阜県医学生修学資金貸付金		
医師育成・確保コンソーシアム事業費補助金		